

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震について

平成 20 年 06 月 16 日（15:05）現在
官 邸 対 策 室

1. 地震の概要（気象庁）

(1) 発生日時 平成 20 年 06 月 14 日 08 時 43 分頃

(2) 震央地名 岩手県内陸南部（北緯 39 度 02 分、東経 140 度 53 分）

(3) 震源の深さ 8 km

(4) 規模 マグニチュード 7.2（推定）

(5) 各地の震度（震度 5 強以上）

震度 6 強 岩手県奥州市
宮城県栗原市

震度 6 弱 宮城県大崎市

震度 5 強 岩手県北上市、一関市、金ヶ崎町、平泉町
宮城県加美町、涌谷町、登米市、美里町、名取市、仙台市、利府町
秋田県湯沢市、東成瀬村

(6) 津波 この地震による津波の心配なし

(7) 余震情報（16 日 15:00 現在）

震度 1 以上の余震 314 回
最大余震 09:20、マグニチュード 5.7
(余震確率)
18 日 11 時までに
・マグニチュード 6 クラス（場所によっては震度 6 弱）が 30%
・マグニチュード 5 クラス（ “ ” 震度 5 強）が 90%

(8) 被災地周辺の気象の予想

今日（16 日）は、概ね曇り又は晴れの見込み。
明日（17 日）は、概ね曇り又は晴れの見込み。
18 日～23 日は、19 日頃までは高気圧に覆われて晴れる日があるが、20 日から
21 日かけては、雨の降る所があり、その後は曇りとなる見込み。
なお、15 日 10:00 から岩手県、宮城県、秋田県の震度の大きかった市町村の大気警報・
注意報、土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

（1）人的被害（消防庁 16 日 14:30 ほか）

県名	死者	行方不明	負傷者	負傷者の内訳
岩手県	2		35	重傷 7、軽傷 28
宮城県	7	12(2)	186	重傷 28、軽傷 158
秋田県			18	重傷 3、軽傷 15
山形県			1	軽傷 1
福島県	1		2	重傷 1、軽傷 1
合計	10	12(2)	242	重傷 39、軽傷 203

（ ）は未帰宅者で内数

【主な人的被害】

- ・ 岩手県 一関市において、地震に驚き道路に飛び出し、交通事故死
奥州市において、胆沢ダム建設工事現場の落石により死亡
- ・ 宮城県 栗原市において、土砂崩れにより 2 名死亡
栗原市（湯浜温泉）において、車両埋没により 1 名死亡
栗原市（駒ノ湯温泉）において、生き埋めにより 4 名死亡
- ・ 福島県 いわき市において、岩場にいたところ地震の落石で海へ転落して死亡

※このほか、仙台市青葉区のアパート内において、崩れ落ちた書籍の下敷きとなって死亡している男性を発見（死因不明）（警察庁 11:41）

（生き埋め・孤立情報等）

○生き埋め・行方不明情報

- ・ 宮城県栗原市駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、生き埋め 7 名（宿泊客 2 名、従業員 3 名、経営者の家族 2 名）、警察、消防、自衛隊で捜索活動→3 名発見、死亡確認（再掲）（男性 1 名、女性 2 名）（警察庁 15 日 16:00）→男性 1 名（心肺停止）搬出（警察庁 16 日 12:30）
- ・ 宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、作業員 1 名行方不明。生き埋めの可能性→引き続き付近捜索（警察庁 16 日 07:00）
- ・ 宮城県栗原市花山で土砂災害で車 1 台埋もれている（消防庁 14 日 11:04）
→女性 1 名救出済（軽傷）、男性 1 名救助済（けが無し）。（消防庁 14 日 19:20）
- ・ 湯浜温泉（湯浜から南 2 km）において車両流出。2 台の車両を確認。男性 1 名、女性 1 名を救出（消防庁 15 日 01:00）また、潰れた車両から 1 名を発見し死亡確認（再掲）（警察庁 15 日 11:15）→引き続き付近捜索（警察庁 16 日 04:30）
- ・ 宮城県若柳町行者の滝で 1 名行方不明→引き続き付近捜索（警察庁 07:00）
- ・ 宮城県栗原市白糸の滝で老夫婦 2 名がつり橋から転落→引き続き付近捜索（警察庁 16 日 07:00）
- ・ 白糸の滝上流で釣り人 2 名行方不明（栗原市災対本部 15 日 09:30）
- ・ 荒砥沢ダムに車両が埋まっているとの情報→引き続き付近捜索（警察庁 16 日 07:00）

- ・栗駒公園線柳沢線入口付近に釣り人 1 名行方不明との情報（消防庁 15 日 22:15）→車両発見（消防庁 16 日 06:38）
- ・岩手奥州市県 R 397 においてマイクロバス 1 台（20 名乗り）が土砂崩れに巻き込まれ斜面を 30m ほど落下、負傷者 7 名を含む 20 名を自衛隊ヘリで搬送。救助完了（消防庁 14 日 21:00）。
- ・宮城県仙台東部道路でバスが走行中にバウンドし負傷者 24 名（重傷 1 名、軽傷 23 名）（警察庁 15 日 06:00）
- ・車で石淵ダムに向かった 2 名行方不明→徒歩で移動しているところを発見、搬送完了（警察庁 15 日 17:30）

○未帰宅情報

- ・栗駒山に登山に行った秋田県在住者 1 名が未帰宅→帰宅（警察庁 15 日 16:00）
- ・栗駒山に山菜採りに行った山形県在住者 2 名が未帰宅（秋田県湯沢警察署に届出）（警察庁 15 日 08:38、消防庁 15 日 18:30）

○孤立情報

- ・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で 60 名孤立をヘリが発見→午後、新潟県防災ヘリ、自衛隊ヘリ等により全員救出完了（消防庁 15 日 05:34）
- ・R342 号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭時（マツルベ）大橋の損傷により 19 名孤立、→ヘリ 3 機で搬送完了（警察庁 14 日 18:15）→確認のため 05:15 より捜索再開→孤立者 4 名発見、救出完了（警察庁 15 日 09:30）
- ・耕栄地区「山脈ハウス」（ハイルザームの手前）に周辺住民 34 名が自主避難。→16 日搬送予定（消防庁 16 日 09:10）
- ・岩手県一関市祭時（マツルベ）付近で孤立（消防庁 14 日 10:55）→付近の健康の森に避難した住民をヘリ（自衛隊、海保、消防）で 98 名救出（消防庁 15 日 02:52）、2 名自宅孤立者を警視庁ヘリにより救出（消防庁 15 日 10:34）
- ・岩手県一関市須川温泉で従業員・客約 100 名孤立（消防庁 14 日 11:50）→全員が自主下山完了（消防庁 15 日 02:52）
- ・温泉・プール施設「ハイルザーム栗駒」（宮城県栗駒温泉付近）に約 100 名が孤立→自衛隊、海保ヘリにより救出完了（栗原市災対本部 15 日 09:30）→新たに 16 名が一時避難→栗駒高原自然学校に移動→救出予定（消防庁 16 日 09:10）
- ・祭時（マツルベ）地区付近の市野々原地区内の公民館に 30 名が孤立→28 名が本寺小学校へ避難（消防庁 15 日 02:52）、2 名自宅孤立者を自衛隊ヘリにより救出（消防庁 15 日 10:34）
- ・祭時大橋の東側で 40 名が孤立→自衛隊ヘリ等で 38 名救出、本寺小学校へ避難（消防庁 15 日 02:52）、2 名自宅孤立者を岩手県警ヘリにより救出（消防庁 15 日 10:34）
- ・温湯（ぬるゆ）（宮城県栗原市）で 20 名が孤立→自衛隊ヘリにより救助完了（防衛省 14 日 22:30）
- ・真湯（しんゆ）地区（烏帽子山付近の R342 号）にて 47 名孤立→消防、自衛隊ヘリにより 45 名救出。15 日朝、残留者救出完了（消防庁 15 日 06:23）
- ・花山地区（金沢・中村地区）において、温湯（ぬるゆ）山荘に 30 名、中村集会所に

40名、金沢地区49名が孤立（栗原市災対本部15日09:30）→金沢地区は、道路開通により孤立解消、中村地区・温湯山荘は、ヘリによりしゃくなげセンター及び花山中学校に全員搬送済み（消防庁15:30）→引き続き付近捜索（防衛省16日06:00）
・温湯（ぬるゆ）温泉で孤立→自衛隊ヘリにより38名救助（完了）（防衛省15日16:10）

（避難状況）（消防庁16日10:15）

- ・岩手県 59名（一関市本寺小学校38名、奥州市愛宕農業者トレセン他3ヶ所21名）
- ・宮城県 194名（しゃくなげセンター108名他7ヶ所86名）
- ・秋田県 3名（東成瀬村手倉交流センター）

（2）河道閉塞の状況（国土交通省15日11:00）

- ・迫川（花山ダム（宮城県）上流） 5箇所
- ・二迫川（荒砥沢ダム（宮城県）貯水池内） 1箇所
- ・三迫川（栗駒ダム（宮城県）上流） 1箇所
- ・磐井川 4箇所

※ヘリコプター、陸上からによる調査、対策の検討を実施中

（3）建築物被害（消防庁16日14:30）

- ・岩手県 半壊1棟、一部破損 94棟、火災1件
- ・宮城県 全壊4棟、半壊5棟、一部破損 81棟
- ・秋田県 一部破損 1棟、火災1件
- ・山形県 一部破損 1棟

合計 全壊4棟、半壊6棟、一部破損177棟、火災2件

（4）交通遮断状況

（鉄道）

- ・東北・秋田・山形新幹線は、15日06:07までに全て運転再開（国土交通省16日06:30）
- （道路）県管理道路等24区間で全面通行止め
 - ・岩手県 8区間（うち落橋1区間（祭時大橋））
 - ・宮城県 8区間
 - ・秋田県 8区間（国土交通省16日06:30）

（海上航路）

- ・航路標識の外観点検終了。20:30 灯火の正常点灯の確認終了。異常なし（海上保安庁14日23:30）

（5）ライフライン等の状況

- ・原発：女川1～3号機、東通、福島第一1～6号機、福島第二1～4号機 現在までの所異常が確認されていない（原子力安全・保安院15日11:30）
- ・福島第二4号機原子炉建屋5階で約4リットルの水溜まり。サイトバン建屋で約15リットルの水溜まり、サイトバン建屋2階のピット底部内に約1リットルの水溜まり。2号機原子炉建屋4階東側通路空調ダクトの下などに約9リットルの水溜まり。なお、施設からの外部への漏洩は確認されず。（原子力安全・保安院15日11:30）
- ・停電：271戸（原子力安全・保安院16日07:00）
　　岩手県奥州市 14戸（全て道路照明）

宮城県栗原市 257戸（うち、道路照明44戸）

土砂崩れや道路の寸断などにより、復旧作業に着手できない状況となっている地域を除き、送電は復旧。現在、停電している地域については、今後の道路等の回復状況により順次作業を進める。

- ・ガス：全て対応終了（原子力安全・保安院 15日 11:30）

- ・断水：（厚生労働省 16日 08:00）

岩手県 1026戸（奥州市1000戸、一関市26戸）

宮城県 2534戸（栗原市2466戸、大崎市68戸）

- ・宮城県内で一部電話不通（95加入電話）（総務省 16日 09:00）

- ・宮城県内で携帯電話基地局（2社4基地局）が停波中（総務省 16日 09:00）

3. 政府の主な対応

14日

- ・08:50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集

- ・08:50 総理指示 被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げること

（緊急参集チーム確認事項）

1. 岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一体となって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
2. 広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
3. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。

- ・11:38 政府調査団（団長：防災担当大臣）出発、13:35 現地着（派遣場所 岩手県一関市、宮城県栗原市）

- ・15:20 総理指示
現地では、孤立されている方々や、行方不明になっている方々がまだまだいる可能性がある。

現在でも救出が進みつつあるが、日没が迫っている。今後さらに、警察、自衛隊、国交省などのヘリを効果的に運用して、可能な限り状況把握に努め、救出活動に全力を挙げてもらいたい。

- ・16:30 政府の現地連絡対策室設置（宮城県栗原市役所内）

- ・政府調査団、団長以下19名は現地に滞在。他の要員は18:34現地から市ヶ谷に向けて離陸、20:30市ヶ谷着陸

- ・岩手県一関市、宮城県栗原市に災害救助法を適用（厚生労働省 14日 19:00）

- ・18:50 総理指示

① 救助活動及び被害の確認作業について、夜間においても引き続き全力で実施せよ。

② 被災者の避難・救援にも万全を期せ。

・ 20：00 災害対策関係省庁連絡会議 開催

申し合わせ事項

1. 行方不明者の捜索を含め、被災者の救出・救助活動に全力を尽くすこと。
2. 被災地の公共団体と連携・協力して、被害状況の的確な把握に努めること。
3. 被災者が1日も早く安心した生活に戻れるよう、避難者等の支援対策に尽力すること。
4. 道路や水道等のライフラインの応急対策や災害復旧に適切に対応すること。
5. 引き続き大規模な余震が発生する可能性があることから、応急対策活動に際しては留意するとともに、被災者の安全確保に万全を期すこと。
6. その他被災者の支援、被災地の早期復旧・復興に向けて、関係省庁が一体となって対応に万全を期すこと。

15日

・ 09：00 緊急参集チーム会議開催

・ 10：30 総理指示

引き続き行方不明者の情報を確認し、捜索・救出に全力を尽くせ

・ 12：30 団長以下、政府調査団、市ヶ谷に着陸

・ 12：38 防災担当大臣が官房長官に現地調査結果の報告

(防災担当大臣への総理指示)

・ 引き続き行方不明者の情報を確認し、捜索・救出に全力を尽くすこと

・ 未復旧のライフラインの復旧に早急に手をつけること

・ 岩手県奥州市、北上市、胆沢郡金ヶ崎町（いさわぐんかねがさきちょう）、西磐井郡平泉町、宮城県大崎市に災害救助法を適用（厚生労働省 15日 13:00）

・ 14：00 災害対策関係省庁連絡会議（第2回）開催

16日

・ 09：00 緊急参集チーム会議開催

・ 11：20 関係閣僚会合開催

総理指示

1. 引き続き、行方不明者の捜索、被災者の方々の救出活動に全力を尽くすこと。
2. 被災者の方々が一日も早く安定した生活に戻れるよう、水道等のライフラインの応急対策も含め、被災者の方々の支援対策に尽力すること。
3. 余震に備え、被災者の方々、救助関係者の安全確保に万全を期すこと。
4. 道路等の災害復旧に適切に対応すること。

4. 各省庁の活動状況

(活動勢力) 警察庁 4139人 (※災害警備本部員を含む)、ヘリ11機 (16日12:30)
消防庁 475人、陸上部隊109部隊、ヘリ8機 (被災地外からの出動)
このほか、宮城県内消防隊750人、132部隊 (16日14:30)
防衛省 1809人、車両約425両、航空機54機 (16日12:30)
海上保安庁 巡視船2隻、航空機7機 (16日09:00)

(活動実績)

(1) 災害派遣 (防衛省) (16日15:00)

- ・6箇所で搜索実施、この他、道路啓開2箇所、生活支援活動3箇所
- ・救助者数 計354人、給水量約10トン、入浴者数 計46人

(2) 緊急消防援助隊 (消防庁) (16日14:30)

- ・搜索・救助活動3箇所、その他、現地調査を実施
- ・救助者数 計173人

(3) 広域緊急援助隊 (警察庁) (16日12:30)

- ・6箇所で搜索実施、この他、崩落箇所等の調査を実施
- ・救助者数 計37人

(4) 海上保安庁 (16日12:50)

- ・救助者数 計153人、救援物資輸送約100kg、人員輸送支援35名

(その他の活動)

(1) DMA T (厚生労働省)

- ・14日、12都県からDMA T (災害派遣医療チーム) 計36チームを現地に派遣
- ・15日16:00、岩手県、宮城県において医療ニーズを確認し、各県での医療対応が可能であることから、医療活動は県に引き継ぎ、DMA Tは活動を終了。

(2) T E C—F O R C E等 (国土交通省)

- ・14日、本省、地方整備局、気象庁等からなるT E C—F O R C E (緊急災害対策派遣隊) を現地に派遣 (16日06:30現在、85班、228名)
- ・照明車19台、衛星通信車4台、遠隔操縦式バックホウ4台等を派遣

5. その他

14日 08:43 宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置 (消防庁 14日10:20)